



なかのべつ

議会だより

No. 103

2014(平成26年)

10. 31

議会報告会	2~3
9月定例会	4
一般行政・教育行政報告	5
一般質問	6~8
臨時会	8
委員会等構成	9
議会改革特別委員会視察・人事案件	10
意見書	11
常任委員会活動レポート	12~13
活動報告	14

第6回議会報告会

7月27日中標津、計根別両会場に約50人の町民のみなさんが出席され、多くの意見・要望が出されました。一部要約して記載します。

各委員会から下記の事項について報告しました。

総務文教常任委員会

- ・ 人事院勧告について
- ・ 学校視察について
- ・ 防災について
- ・ 北方領土問題について
- ・ 町税について
- ・ 当幌川遺跡 2次発掘調査について
- ・ 学校給食における牛乳アレルギーの対応について
- ・ 新たな高校生等への就学支援について
- ・ 平成25年度児童・生徒・教職員数について
- ・ 平成25年度義務教育費(就学援助費)について
- ・ 町有財産の管理について
- ・ 計根別小中学校増改築工事及び一貫教育について
- ・ (仮称)総合体育館建設事業について

厚生常任委員会

- ・ 町立病院の管理運営について
- ・ 町立病院受変電設備機器更新について
- ・ (仮称)児童センターについて
- ・ 白樺斎場改築事業について
- ・ 生活交道路線バスについて
- ・ 団体との視察及び懇談会について

産業建設常任委員会

- ・ 空港利用状況について
- ・ 観光振興について
- ・ 各作物の作況状況について
- ・ エゾシカ対策について
- ・ 建設工事の発注・進捗状況について
- ・ 中標津都市計画用途地域見直しについて
- ・ 第6期中標津町道路整備5箇年計画について
- ・ バイオガスプラント導入推進について
- ・ 移住促進事業について
- ・ 団体との意見交換会について

その他平成26年度予算審査特別委員会・平成25年度決算審査特別委員会から報告をしました。

◆ 参加者が少ないので、もっと多くの人が参加できるように工夫をしてほしい。

(40代男性)

◆ 町議会本会議を平日夜または土曜、日曜日にやって多くの町民が傍聴できるようにしてほしい。

(30代女性)

◆ 年配の方ばかりで緊張しました。もっと若い人も来たら良いのに！特別支援学校の分教室設置に協力お願いします。



中標津会場

◆ 防災体制の不備について、具体的な意見が出て他の出席者に対しての問題提起となつて良かったと思う。

(60代女性)



計根別会場

◆ それぞれの事業報告や検討がされていますが、その結果がどのようになったのかを知りたい。

(70代男性)

◆ 初めて議会報告会に出席が大変勉強になりました。色々の要望が出ましたが、よろしく願います。

(60代)

◆ 要望や町の対応について、今の社会や政治のあり方と同じような問題を感じた。

(60代女性)

◆ 優先順位を本当に町民が納得できるように説明をして欲しい。

(80代男性)

皆さまからのアンケート



主な Q & A 中標津会場

Q 7月10日、大雨による注意喚起のチラシがポストに入っていたが、朝見つけたのでは間にあわず、安心・安全の面からも再度検討をお願いします。

A 町内会の協力体制や連絡体制を構築し、地域の危険情報を迅速かつ的確に収集し、提供する体制の確立に向けて、危険性の高い町内会と連携を取りながら進めます。

Q 吹雪発生予測システムについて

A 吹雪発生予測システムは、試験運用のために設置したシステムです。カメラについては、現況における眺望景観の状況把握を優先にしています。

吹雪予測情報の閲覧につきましては、試験運用のために関係者のみです。

カメラ画像・気象データは、12月より町のホームページを通して閲覧できる状態に致します。

Q 開陽台の展望館に車で行った帰り、降りてきたところに「左折」の表示がなく、直進したら危険です。

A ご指摘のとおり、直進してしまう可能性があるので、早急に簡易看板を設置してもらいます。

Q 重い障がいのある子は、特別支援学校に行くよう言われているんですが、根室管内にはないので釧路になります。管内にも特別支援学校、そ

の分教室という形で実現できないか、活動していくので応援してほしい。

A 正式に書面で申し入れしてくれらる、議会としてもまとまって対応が出来ると思います。

Q 運動公園での駐車場の仕方やゴミ捨てなど、マナーが悪い。

A 議会としても駐車場の増設、速度規制標識の設置、ゴミのポイ捨て禁止や持ち帰り等の看板設置を働き掛けていきます。また町としても大会主催者への指導を徹底し、遵守できない場合は許可の取り消し等厳しく対応することです。

計根別会場

Q 計根別小中学校として新しくなるが、机・椅子は新しくならないんですか。

A まだ使えるものは使うという教育的観点から、近年は新校舎になってもすべての机・椅子が新しくなることはありません。

Q バス停留所に屋根があるとよい。

A 利用状況を把握し、可能な範囲で屋根設置の検討を行ないます。

Q 新しい小中学校の近く（北1条）に、横断歩道と押しボタンの信号機を設置してほしい。

A 北海道公安委員会への設置要望をさせていただきます。

設置がなされない場合は道道交差点の信号機のある横断歩道を「通路」とするよう学校に要請していきます。

Q 養老牛の、道路の縁の草が伸びていて、道道と町道とありますが、まだ一回も刈りに来てないところもあります。

A 早急に町のほうに申し入れます。

Q 町職員の町内会加入率、66%と聞いてますが、本当ですか。計根別ではほぼ全員入っています。

A 議会としても働き掛けをしていきます。

9月定例会

条例改正など全議案可決

平成26年9月定例会を9月8日から12日までの5日間の会期で開会し、議決した主な内容をお知らせします。

補正予算

■一般会計補正予算

3億6千947万5千円を追加し、141億2千576万1千円となりました。

主な使用みち

- ・コミュニティ施設等整備工事費 300万円
- ・旧俣落小学校校舎解体工事に係わる外壁下地材処理経費の増
- ・地熱開発理解促進関連事業 602万9千円
(仮称) 中標津町地熱促進協議会の設立、地熱利用促進セミナーの開催、先進地視察等
- ・エゾシカ農業被害対策費 50万円
- ・駆除対策報償金 100頭×5千円
- ・予防接種事業 1千7万1千円
- ・水ぼうそう及び高齢者用肺炎球菌予防接種の定期接種に伴う経費(平成26年10月1日施行)
- ・農業農村活性化資金貸付金 2千万円
- ・新規就農者に係る貸付金の増4件

■介護保険事業特別会計補正予算

805万5千円を追加し、13億1千145万5千円となりました。

主な使用みち

平成25年度介護給付費負担金等清算による返還金

■町営牧場特別会計補正予算

149万3千円を追加し、6千163万2千円となりました。

主な使用みち

預託頭数の増による追肥代及びオートバイ修理不能に伴う購入1台

条例の制定、一部改正等

- ◆中標津町重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定
「母子及び寡婦福祉法」が「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に改められたことによる引用条文の改正。
- ◆中標津町特別工業地区建築条例の一部を改正する条例制定
用途地域の見直しにおいて新たに大規模集客施設制限地区を加えることにより、条例の題名、条文内容の変更を行う。
- ◆中標津町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例制定
子ども・子育て支援新制度の給付を受けるためには、施設は「認可」と町の「確認」を受ける必要があるために、町は運営に関する基準を定める。
- ◆中標津町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例制定
家庭的保育事業等は特定地域型保育給付の対象となることから、認可するための基準を定める。
- ◆中標津町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定
放課後児童健全育成事業を町に届け出て事業を行うことに対応するため条例を制定する。
- ◆中標津町特定用途制限地域内における建築物等の制限に関する条例制定
都市計画白地地域に新たに特定用途制限地域を指定し、特定の建築物を規制するため条例を制定する。
- ◆北海道市町村職員退職手当組合理約の一部変更
新規に加入する団体が生じたため、規約の一部を変更するもの。
- ◆工事請負変更契約の締結
55線道路改良工事

決算審査特別委員会を設置しました

- ◆平成25年度各会計決算審査のため、特別委員会を設置しました。
委員については9ページに掲載しています。

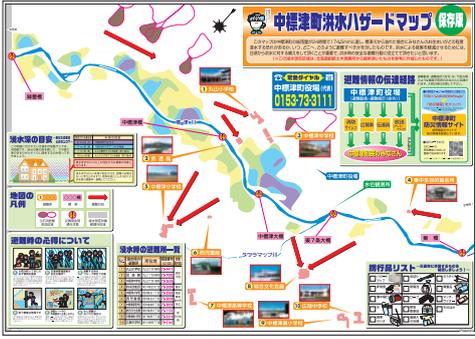
一般行政報告

一、要望等について

根室地方総合開発期成会として、根室地方の地域づくり・総合開発に関する要望・提言を地元選出国會議員、関係各省に対し要請しました。

合わせて釧根トライアングル整備構想連絡会議として、地域高規格道路釧路中標津道路及び根室中標津道路等の整備促進について要請しました。

8月7日に江藤農林水産副大臣を招き、自民党北海道第7選挙区支部根室地方総合開発期成会要望会において、各公共事業に伴う地方負担に対する財源の確保について要請しました。



中標津町洪水ハザードマップ

7月に全日空株式会社札幌支店、同社本社に対し中標津空港の利用促進に関する要望として中型機運用期間の確保、利用しやすいダイヤと運賃の設定等を要請しました。

7月25日、北海道教育委員会及び北海道に対し町村立高等学校の改築・耐震化に向けては現在補助制度がなく、多大な自主財源を求められることから北海道独自の支援策として地域づくり総合交付金の対象事業に加えるよう要請しました。

7月7日、北海道に対し北方領土隣接地域における諸課題に向けた財源対策に対する要請をしました。

二、寄贈金品について

6月定例会後、現金で2件、8万円、物品で2件の寄贈がありました。

三、台風への対応

状況について

7月10日から12日にかけて台風8号の影響により、総雨量は昨年の台風18号を大きく上回る138・5mmとなりました。

10日の夜には町の洪水ハザードマップにより、浸水の恐れがある西町地区の一部、東泉地区・末広地区の一部に対し個別チラシによる浸水等への注意喚起・避難体制の準備などについての周知、11日早朝から道路パトロールを行ないました。

被害状況は、道路冠水による町道3区間の一時通行規制、4力所の法面流失、一部東中地区で下水処理の遅滞のほか一部地域で強風により断続的な停電が発生しましたが無事復旧しました。

四、作況状況について

牧草は平年より6cm高く、サイレージ用トウモロコシは

教育行政報告

一、各種大会等への出場について

8月17日から徳島県で開催された第36回全国中学校軟式野球大会に、中標津中学校が出場し準優勝の成績を収めました。

6月21日から札幌市で開催された第5回北海道農業高校

一部の圃場でごま葉枯病が発生したがどちらも生育は順調。馬鈴しょは8日早い生育、てん菜は平年並みの生育、大根は出荷良好に推移しているがブロッコリーは若干落ちています。

生乳は4月から7月までの累計生乳生産状況では前年対比96%と大変厳しい状況が続いています。

小麦は昨年より良かったものの総じて出来は良くないと評価でした。

五、建設工事発注状況について

8月20日現在、件数で127件、率で64・8%、金額で25億438万3千円、率で43・3%の発注となっております。



中標津中学校野球部

二、各賞受賞について

第8回全農学生「酪農の夢」コンクールで農業高校3年女子が最優秀賞を受賞しました。

三、都市間交流事業について

8月5日から8日まで川崎市に児童10名引率者2名で参加、川崎市からは8月19日から22日まで児童・生徒23名引率者6名が来町し交流を深めました。

四、中標津農業高校生の海外派遣について

7月30日から8月9日まで生徒5名がニュージーランドで研修を行なってきました。

ズバリ!

町政を問う

ここが聞きたい

9月定例会では5人の議員が8問の質問をしました。理事者からの答弁を要約して掲載します。

質問

平成17年より数回質問し、一回目は「立ち入り調査、改善指導を行う」二回目は「国に適正な要望をする」との回答でした。

平成20年の家畜排せつ物の野積みや素堀を解消し肥料として有効活用することを検討してはの質問に対し、現施設では飼養頭数の増で容量不足になるので改良普及センター等の協力を得て「家畜排せつ物適正指導チーム」を構成し、技術支援をしているとの回答でした。

臭気については、スラリーストアで曝気処理^{※2}、EM菌^{※3}等に対応、畜舎内外の環境改善



柴野 忠征 議員

Q 牛の糞尿に対するその後の取り組み

A 施設建設に向けて鋭意取り組んでいます

有機肥料化の取り組み等農協とも連携し、対策を講じていますが、基本的な解決策を見出せずにいます。

また、家畜排せつ物が約65万トンになっていますが、どのように処理するか具体的な意見をお聞かせ下さい。

町長答弁

大型酪農は大量の家畜糞尿を生み出し、大部分は良質な堆肥として草地に還元されていますが、汚染の原因との指摘もあります。

このような現状で、標津町農協・漁協と「産業環境に関する3者会議」を平成22年に設立し良好な関係をめざしています。

牛の糞尿を活用したバイオガス発電事業等について、町としても現状での臭気対策として成行きを注目しています。

昨年「中標津バイオマス利活用検討協議会」を設置し牧場経営にとり、高い費用対効果を示す検証データを集め参画の酪農家と共に調査研究を進め、将来のバイオガス発電施設建設に向け鋭意取り組んでいるところです。

※印については、8ページに説明文を記載しております。

質問

平成23年度から32年度まで対応の第6期総合発展計画の学校教育の充実の中に「住み良い環境整備のため、老朽化の教職員住宅の計画的な建て替えを図ります」と記述されています。

23年6月議会で「老朽化教職員住宅の建て替え」の私の質問に対し、喫緊の課題との認識、早い時期に計画を立案するとの回答がありました。

さらに今年度配布の実施計画書26年度から28年度分には、教職員住宅の整備について一



佐藤 武志 議員

Q 政策の継続

A 平成29年度以降に進めます

切の記述がありません。

政策の継続という視点で考えて行くことが重要と考えますが、教育長の見解と現時点での検討を伺いたい。

教育長答弁

当時の質問に対し、住宅数の検証の必要性、早い時期に建て替え計画を立案したいと答弁しています。

教職員住宅の現状ですが、小・中・農高で定数教職員は232人、住宅は128戸、築30年を経過したものは99戸です。

一方、教職員住宅の利用率が減少しています。

このような中、24年7月のアンケートをもとに内部資料として教職員住宅の整備計画を作成しております。

本来であれば、整備計画の策定後、早期に実施計画に掲載する予定でしたが、補助金等の支援がないことや、大型建設事業が先行している実態もあります。

平成29年度以降には、継続的に建設できるよう補助金等の模索を含む財源確保など着実に準備を進めてまいります。

ズバリ!

町政を問う

ここが聞きたい

質問
高齢者が地域でボランティア活動に従事することによって、高齢者の社会参加や地域貢献を促すとともに、高齢者自身の介護予防につながることを期待されます。

各自自治体では、65才以上の高齢者が地域のサロン・会食会・外出への補助、介護施設等のボランティア活動を行った場合、自治体からポイントを付与するもので、貯まったポイントに応じて、商品との交換や換金の他、介護保険料の支払いに充て、保険料の軽減に利用できるなど、ポイント制度により、地域で活躍する元気な高齢者が増え、いき



水石 幸衛 議員

Q
高齢者ボランティア(地域活動)ポイント制度の推進

A
今後の推移を見守り導入すべきか判断します

いきとしたまちづくりにつながり、より効果がでていきます。多くの高齢者が地域活動に参加できるようポイント制度を活用すべきと考えますが、ご見解をお聞かせください。

町長答弁

当町はポイント制度を用いて活動している団体や、高齢者の就労支援として、シルバ一人材センターが運用されています。

新たなポイント制度による事業の開始は、団体の活動への影響が懸念され、今後の推移を見守り、導入すべきか判断します。

他の一般質問概要

◆ヘルプカードの普及促進

質問

障がいの特性や具体的な支援内容を、あらかじめ記入し緊急時、災害時に困った際に提示し、手助けをお願いするためのヘルプカードを配布すべきではないのか。

町長答弁

実施するなら広域で取り組むべきであり、北海道の状況をみて検討したい。



佐野弥奈美 議員

Q
モバイルブリッジの導入検討

A
状況を見ながら検討してみたい

られる橋とは聞いていますが、最近の災害状況を見ていると必ずしも安全とは言えないと思いますし、けがをした方などを少しでも早く病院に運ぶためにもモバイルブリッジの導入を考えてはいかがでしょうか。

町長答弁

万が一すべての橋が崩落寸断した場合は甚大な被害が発生するものと予想され、航空ヘリ等による対応のほか帯広・旭川の自衛隊に60mまで対応可能な仮設機材が配備されており、有事の際には関係機関に要請することを基本として考えております。

質問

モバイルブリッジとは運搬可能で橋げたがなく、油圧式でマジックハンドのように伸び、短時間で架設できる橋です。

最近では広島や利尻の土砂災害など、予想だにしない災害が起き今まで経験のない被害状況といわれています。

以前にも一般質問がありましたが、標津川で南北にわかれている町で、災害により橋がなくなると、消防や役場と病院が離れてしまいます。現在の橋は震度7まで耐え

迅速な人命救助、物資運搬等の面からモバイルブリッジは有効な設備ですが、トレーラー運搬が必要であり運搬路の確保、河川敷地内での設置場所の確保が必要になること、また、まだ開発途上の設備であることから今後の設備改良状況や導入経費等の状況が明らかになっていく中で検討してみたい。

ズバリ!

町政を問う

ここが聞きたい

国は自ら主体的に対応する自治体を支援するとしており、先の議会報告会においても「隣の町ができることが、なぜ当町においてはできないのか」とお叱りにも近い口調で問題提起をいただいております。ぜひ12月定例会までの緊急課題として、補正予算化を研究され

円安による灯油価格の高止まりは現在も続き、需要期にはさらに上がる可能性があり、一方で大幅な電気料金の値上げも予定されています。当町では入居者の安全を考慮し、公営住宅においてオール電化を推進してきた経過もあり、この状況に対して自治体として対応が求められると考えます。

質問



松村 康弘 議員

A 改良を加えて制度を検討してまいります

Q 福祉灯油の補正予算計上

町長答弁
昨年度は、本町を除く根室管内自治体で住民税が非課税の世帯に対し、灯油券や商品券の給付、または現金給付を実施したところです。

昨年11月1日現在の灯油価格は102円であり、本年9月1日現在も同額であり、平成16年の40円から50円を前後していた時代に比べ2倍にも高騰し、いまだに高止まり傾向にあり、原因である中東の紛争は続き、寒くなるとさらに値上がりする可能性が大きいと認識しております。

今後、国の特別交付税措置や北海道の地域政策総合補助金の動向を見据え、また道内管内の市町村の実施状況を勘案した中で過去の福祉灯油助成事業に改良を加えた上で検討していく考えであります。

他2点の一般質問概要
◆地球温暖化現象(極端気象)に対する自覚と対応
町長答弁
今後の課題として受け止めます。

◆電線の地中埋設と国の施策
町長答弁
現段階では優先順位は低いものと考えます。

るべきと考えてますがいかがですか。

第2回臨時会

8月4日に開催された臨時会において工事請負契約の締結について審議し、原案どおり可決しました。

○工事請負契約の締結

西2条橋改修工事
9,633万6千円
山洋建設株式会社



西2条橋

○工事請負契約の締結

計根別小中学校屋内運動場増改築建築主体工事
5億7,402万円
犬飼・廣木特定建設工事共同企業体

一般質問の用語解説

- ※1 スラリーストア
乳牛の糞と尿をスラリーという液状のまま発酵させる大きなタンク。
- ※2 曝気
空気の吹き込みや攪拌などをして、液中に酸素を供給すること。
- ※3 EM菌
乳酸菌、酵母、光合成細菌を主体とし、安全で有用な微生物を共生させた多目的微生物資材。
- ※4 バイオガス発電
家畜の糞尿、食品廃棄物、下水道・汚水などの有機ゴミを発酵させて可燃性のバイオガス(メタン、二酸化炭素など)を取り出して燃焼し、発生する熱を利用して蒸気でタービンを回す仕組み。
- ※5 バイオマス
間伐材や製材のおが屑、剪定枝葉や建築廃材、畜産で生じる糞尿、下水道の汚水処理場で集められた有機物、家庭の台所のごみなど生物起源のエネルギー資源の総称。

新たな体制で議会がスタート

常任委員会

総務文教常任委員会



水石幸衛 萬 和男
飯島佐市 佐野弥奈美
◎松村康弘 ○上原房子

厚生常任委員会



弾正原正 柴野忠征 熊倉重樹
◎鈴木克弘 ○瀬波秀人

産業建設常任委員会



佐藤武志 端 裕子 後藤一男
◎吉田貫一 ○渡邊將史

議会運営委員会



吉田貫一 鈴木克弘 松村康弘
○佐藤武志 ◎熊倉重樹 萬 和男 後藤一男

議会広報特別委員会



佐藤武志 後藤一男 佐野弥奈美
◎水石幸衛 ○瀬波秀人

議会改革特別委員会		決算審査特別委員会		中標津町議会議員会	
◎松村 康弘 ○鈴木 克弘 瀬波 秀人 弾正原 正 端 裕子 佐藤 武志 後藤 一男		◎端 裕子 ○弾正原 正 上原 房子 佐野弥奈美 鈴木 克弘 渡邊 將史 後藤 一男		◎飯島 佐市 ○端 裕子 瀬波 秀人 水石 幸衛 渡邊 將史 弾正原 正	
根室北部衛生組合 議会議員	根室北部消防事務組合 議会議員	中標津町外2町葬斎組合 議会議員	根室北部廃棄物処理 広域連合議会議員		
弾正原 正 熊倉 重樹 後藤 一男 萬 和男	吉田 貫一 上原 房子 松村 康弘 後藤 一男 萬 和男	佐野弥奈美 佐藤 武志 柴野 忠征 後藤 一男 萬 和男	瀬波 秀人 鈴木 克弘 後藤 一男 萬 和男		
<p>「常任委員会」 議案などを専門的に、効率的に審査する常設の委員会のこと。総務文教、厚生、産業建設の3つの常任委員会があり、議員はいずれかの委員会に所属している。</p> <p>「議会運営委員会」 円滑な議会運営を行うために、議会運営の全般について協議し、意見調整などを図る常設の委員会のこと。</p> <p>「特別委員会」 特定の事件を集中的に審査するために、必要に応じて設置される委員会のこと。</p>				中標津地域森林・林業・林産業 活性化議員連盟	
				◎熊倉 重樹 ○吉田 貫一 佐藤 武志 鈴木 克弘 松村 康弘 上原 房子	
監査委員				飯島 佐市	

◎委員長 ○副委員長

特集

議会改革の 先進地に学ぶ

—美幌町・芽室町へ視察—



美幌町議会視察

これまで議会改革特別委員会は、中標津町議会の議決が町民の共感をいただき、将来の結果に対する共同責任を負ってもらえるような活動内容にさらに近づくために、町民の皆様にアンケートに協力いただき、定数のさらなる削減を求めることはしないなど、おおむね肯定的な評価をいただいたことに感謝します。

特別委員会は現在、政務活動費の支給と通年議会運営、情報発信をさらに充実させる一丁の可能性を研究しており、美幌町議会と芽室町議会を視察してきました。

これからの議員活動はますます専門性を増し、自ら発意して事務調査をする場面や主権者である町民の皆様に活動報告をしていくためにも必要な措置であることを強く感じました。

次に芽室町では、常任委員会を中心とした通年の議会開催の狙いと、現状の説明を受けました。

議会報告会・意見交換会における町民の皆様の意向を踏まえ、決算特別委員会における行政課題の進行状況のチェック、そして次年度への政策課題の合意形成、理事者への予算措置要請、そして3月の予算議会と1年間をサイクルとして設定し活動を行なっています。

また、町民から選ばれた複数の代表としての議論と合意



芽室町議会視察

形成を進めることで町民の負託に応えようという強い気概を感じてきました。

さらに、インターネット上の議会中継や録画放送・議事録作成の支援ソフトの運用等

の実態を間近に見させていただき、これらの手法を駆使してさらに積極的に情報発信をすることの大切さを勉強してきました。

また、議会モニターという制度を運営し、議会活動をモニターし、講評をいただくなどの努力の中で新しい議員候補の発掘を行なうなどユニークで参考となる取り組みにも出会いました。

新人議員が誕生する前に私達の議会がしっかり改革の身を詰めて議場に迎える事ができるよう議論を深め、精進してまいります。

(議会改革特別委員会
委員長 松村 康弘)

人事案件



教育委員会委員の任命に同意しました。

氏名 助口 明氏
住所 中標津町字西竹766番地
生年月日 昭和37年6月16日
任期 自平成26年10月1日
至平成30年9月30日

みんなの声を国政に

意見書

次の4件について、議員から意見書案が提出されました。
定例会において審議の結果可決され、関係行政省庁に提出されました。

林業・木材産業の成長産業化に 向けた施策の充実・ 強化を求める意見書

提出者 熊倉 重樹 議員

本道の林業・木材産業は、山村地域を支える基幹産業として発展し、雇用の確保、地域経済の活性化などに大きく寄与してきた。

地球温暖化が深刻な中、二酸化炭素を吸収・固定する森林・木材が果たす役割はこれまで以上に重要となっている。

北海道ではトド松やカラ松など、人工林を主体とする整備によって産出される木材の自給率は全国の2倍以上の約6割に達している。

人工林資源が本格的な利用期を迎える中、地域の特性に応じた森林の整備、保全を進めるとともに「森林整備加速化・林業再生基金」の継続またはこれにかわる恒久的な支援制度創設等の施策の充実・強化を要望する。

道路の整備に関する意見書

提出者 上原 房子 議員

一、高規格幹線道路ネットワークの早期の事業化を図ること。

二、高度経済成長長期に整備された道路施設の老朽化対策を推進するため

の、安定的な予算確保、技術的、財政的支援の充実を図ること。

三、自然災害時等、災害に強い道路ネットワークの構築を図ること。

四、冬期交通における交通ネットワーク形成など、道路の整備・維持に必要となる十分な予算を確保すること。

「農林水産業・地域の活力創造プラン」による農業改革と 農業委員会組織・制度改革 に関する意見書

提出者 弾正原 正 議員

一、農業委員会の農地法等の許認可業務と農地の利用調整等地域農業の振興業務の一体的取り組み及び法律に基づく農業者の代表としての農業委員会組織の意見の公表、建議等の存続を図ること。

二、公選制の持つ代表性の機能を基礎とした新たな地域・農業者の代表制の確保及び農地利用最適化推進委員（仮称）の設置に関し各農業委員会の意思が反映可能となる制度の創設をすること。

三、活動の支援と課題の解決に向けた、法律に基づく農業委員会ネットワークの維持を図ること。

四、農業の担い手と農地を守る視点から農地転用基準緩和の慎重な対応及び農業生産法人は、農業者が設立した法人であるとした制度の堅持をすること。

集団的自衛権に関する 自衛隊法などの改正に 慎重審議を求める意見書

提出者 松村 康弘 議員

さる7月1日、多くの国民の「よくわからない」の声や反対の声がある中、安倍内閣は「集団的自衛権の行使を容認する」閣議決定に踏み切った。

これに対し各世論調査で国民の過半数が反対していることが明らかになり、この夏の終戦記念日は二度とあのような戦争を起こさないとや巻き込まれないように求める声が相次いだ。

我が国の自衛隊は歴代内閣において集団的自衛権を行使した例はなく、平和憲法の下、専守防衛に徹し戦後70年近くの長きに渡り、他国の人々を殺傷したことがない。我が国は諸外国に平和国家として認知され、今日の通商貿易国家としての発展を遂げてきた。

よって自衛隊法などの改正は憲法の理念に照らし、慎重に審議することを求める。

常任委員会活動レポート

議会には3つの常任委員会があります。定例会から次の定例会が開催される間を「閉会中」といい、各常任委員会はこの間を活用し、所管する事項とその他案件の調査をしています。主な調査事項を報告します。

総務文教常任委員会

(仮称)中標津町総合体育館敷地造成工事進む

教育委員会

●(仮称)中標津町総合体育館建設工事

敷地造成工事が10月末完成を目指して進んでいます。掘削の結果、法面の状態が火山灰等で良くないため、張芝を吹付け工法に変更する。このため工事



体育館敷地造成工事

費が増加するとの説明がありました。

その他

●その他
社会科副読本(ホームページで公開)、平成26年度義務教育扶助費、児童・生徒及び教職員数について報告がありました。

総務部

●25年度町税収納状況

平成25年度の町税決算状況の説明があり、各税の金額・収納率ともに前年を上回っていました。

●TVHテレビ中継局の整備

要望の多かった株テレビ北海道の中継局が、根室管内1市4町と浜中町で会社側と交渉の結果、放送事業者と関係市町で一定の割合の負担をして中継局の整備をすることになりました。

平成27年12月開局ですが、4月から試験放送を予定とのこと

(熊倉 重樹 議員)

厚生常任委員会

特別給付金申請状況について

町立病院

●管理運営について

平成26年度6月末現在の入院における累計患者数等の状況は前年対比、患者数で780人、1日平均患者数では8.6人、病床利用率で5.3ポイントそれぞれ減少しております。

減少の要因としては、麻酔科の医師が本年4月末で退職したことにより、出張医師での対応になったことから、手術件数が減り、入院患者数の減少となりました。

7月より常勤の麻酔科医師が着任し、手術に関する入院患者の増などにより改善が見込まれます。

また、10月より泌尿器科の医師の派遣がなくなるため、当分の間は市立釧路病院など、釧路市内の泌尿器科に対応をお願いする状況です。今後も大学等へ

の働きかけを行ない医師の確保に努めていただき、早期の再開を期待します。

●時間外診療状況

平成22年度から25年度の時間外受診者は年々減少しており、平成22年度で7千人を超えておりましたが、平成25年度では6千人弱となっています。

この3年間での減少を見ましてもコンビニ受診と思われる時間外受診は減ってきており、今後とも町民皆様のご理解、ご協力が重要です。

町民生活部

●臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特別給付金

それぞれの給付金の7月末現在の受付件数は、特に臨時特別給付金の申請がかなり低調に推移しています。



白樺齋場現場視察



作況状況現地視察

●建設工事の進捗状況
白樺齋場・計根別小中学校の現地視察をしました。
白樺齋場の進捗率は建物工事70%、炉工事80%、計根別小中学校の進捗率は75%、管理工程より2%遅延、体育館建設（敷地造成）についての進捗状況は、7月末で40%との説明を受けました。

建設水道部

●作況状況
小麦、馬鈴しょ、大根、ブロッコリーを現地視察し、生育状況の説明を受け、その後、(株)開陽D・A・I TMRセンターを視察しました。

●建設工事の発注状況
7月25日現在56・1%発注済との説明を受けました。

●中標津都市計画（用途地域等）の見直し
中標津都市計画の見直し、中標津町特別工業地区建築条例の改正について、中標津町特定用途制限地域内における建築物等の制限に関する条例制定についての説明を受けました。

（佐野 弥奈美 議員）

委員から、もう少し町民に對しわかりやすい表現で広報すべきであり、給付金の受付時期の延長も検討すべきとの指摘がありました。

●児童センター建設について
現在建設中の児童センターは木材を多用することから、10月15日の木材（地域材）利

用を考えるフォーラム2014に合わせて開催された構造見学会に参加しました。
●「白樺齋場」建設現場視察
おおむね順調に工事が進行しており、設備等の説明を受けました。
（吉田 貴一 議員）

産業建設常任委員会

計根別小中学校・白樺齋場現地視察

経済部

観光振興

平成25年度根室振興局管内観光客入込数については、全体で前年比97・5%と減少しました。中標津町は道外の団体ツアー客を中心に開陽台や養老牛の入込客数が増加との説明を受けました。

地域雇用創造推進事業

平成23年度から平成25年度までのパッケージ事業実績報告を受けました。
この事業は平成25年度で終了しました。



株開陽D.A.I TMRセンター視察

平成26年7月から9月までの活動報告

Table with 6 columns: Date, Event, Attendees, Date, Event, Attendees. It details various council activities and meetings from July to September.

議会からのお知らせ

「議会を傍聴してみませんか」

議場には傍聴席(車いす用スペースあり)があり、先着順に議会傍聴できます。傍聴者には参考資料を配布して、議会の取り組みが理解できるよう対応しています。

議会だよりに対するご意見をお寄せ下さい。

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地 中標津町役場

TEL (0153) 73-3111 FAX (0153) 73-5333

(議会事務局にご連絡を)

- ・ホームページは http://www.nakashibetsu.jp
・メールは gikai@nakashibetsu.jp

発行/北海道中標津町議会 編集/議会広報特別委員会

広報特別委員会

議会だより第103号の発行から広報特別委員会構成が変わりました。「議会だより」は議員のためではなく、皆様のためであることを念頭において、読みやすく分かりやすい編集に心がけたいと考えています。

- 委員長 水石 幸衛
副委員長 瀬波 秀人
委員 佐野 弥奈美
委員 佐藤 武志
委員 後藤 一男



エゾリンドウ